

## ✿ e-メカサイトトップページをリニューアル ✿

安川電機の製品・技術情報サイト「e-メカサイト」を皆様により快適に使っていただけるよう、トップページのリニューアルを行いました。

トップページから目的のページへ迷わず移動できるよう、コーナー名の見直しや入り口の整理を行い、シンプルな構成に変更しました。また文字や写真のサイズを大きくして、見やすく分かりやすくしています。

ぜひ、リニューアルしたe-メカサイトをご活用ください。

e-メカサイトは  
こちらから!



<http://www.e-mechatronics.com>



● お問い合わせ先：マーケティング本部 業務部 営業業務改革課 TEL: 03-5402-4665 FAX: 03-5402-4554



## 個人レースも好調

駅伝シーズンを終え、選手それぞれが目標とする個人レースに舞台を移しました。

この中で、別府大分毎日マラソンに出場した中本健太郎選手が、マラソン14回目にして念願の初優勝を果たしました。ペースメーカーが予定よりも早い26km地点で離れ、ここからレースが動きました。それでも中本選手は動じることなく、レースの主導権を握り自分の走りに集中しました。33km地点からの外国人選手とのマッチレースも38km地点で決着をつけ、最後は独走で優勝のテープを切りました。この結果が評価され、世界陸上競技選手権ロンドン大会の男子マラソン日本代表に選出されました。

翌週の全日本実業団ハーフマラソンでは、今期好調を維持している高橋尚弥選手と古賀淳紫選手が積極的にレースを進めました。特に高橋選手は序盤から先頭

に立って集団を引っ張り、その後も最後まで粘りぬいて9位でフィニッシュし、今後に期待を持たせてくれました。

さらには、今後のマラソンへの挑戦を意識して、佐護啓輔選手が、熊日30キロロードレースに初出場。序盤から3位集団を引っ張り、途中何度も揺さぶりをかけるという積極的なレースを見せ、25km地点の下り坂を利用して一気にスパート。新人賞受賞となる3位でフィニッシュしました。

シーズン最後を締めくくる金栗玉名ハーフマラソンには3名が出場。高橋選手が序盤から最後まで5名の先頭集団でレースを進め、4位という健闘を見せました。このレースでは、渡邊一磨選手も7位と健闘したほか、井上拳太郎選手は13位となりました。

駅伝、マラソン、ロードレースが終わり、春のトラックレースに舞台を移します。新人も加入する新年度にご期待ください。

選手詳細情報は陸上部ホームページ「草魂」で公開中!  
<http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>



念願のマラソン初優勝を果たした中本選手  
(別府大分毎日マラソンより)

### ◆ 2017年1月～3月の主な戦績

日程	大会名	成績
1月 15日	公認野球磨ロードレース大会 ハーフマラソン	井上拳太郎選手20位
1月 22日	全国都道府県対抗男子駅伝大会	高橋尚弥選手(岩手県代表)3区12位、古賀淳紫選手(佐賀県代表)7区10位
2月 5日	別府大分毎日マラソン	中本健太郎選手 優勝(世界陸上競技選手権ロンドン大会 男子マラソン日本代表に選出)
2月 5日	香川丸亀国際ハーフマラソン	佐護啓輔選手38位
2月 12日	全日本実業団ハーフマラソン	高橋尚弥選手9位、古賀淳紫選手22位(自己新記録)、井上拳太郎選手83位
2月 19日	金栗記念熊日30キロロードレース	佐護啓輔選手3位(新人賞受賞)
3月 5日	金栗杯玉名ハーフマラソン	高橋尚弥選手4位、渡邊一磨選手7位、井上拳太郎選手13位